

## 2 平成13年度からの繰越状況

予算の繰越しとは、経費の性質上または予算成立後の諸般の事情により年度内に事業が完了しなかったため、予算を翌年度に繰越して使用することです。

予算の繰越しには、主なものとして、1つは予算の経費の性質上、又は予算成立後の事由により当該年度内に支出を終わらない見込みがあるものについて、翌年度に限り繰越して使用することができる繰越明許と、もう1つは年度内に支出負担行為をし、避けがたい事故のために年度内に支出を終わらなかったものを翌年度に繰越して使用する事故繰越があります。

平成13年度からのこれらに該当する経費は、表22、図37のとおり、一般会計で繰越明許が約614億円、事故繰越が約1億4千万円、また、特別会計で繰越明許が約68億円あり、これらの総額は約684億円となっています。

図37 平成13年度一般会計予算繰越の構成

(単位：千円)

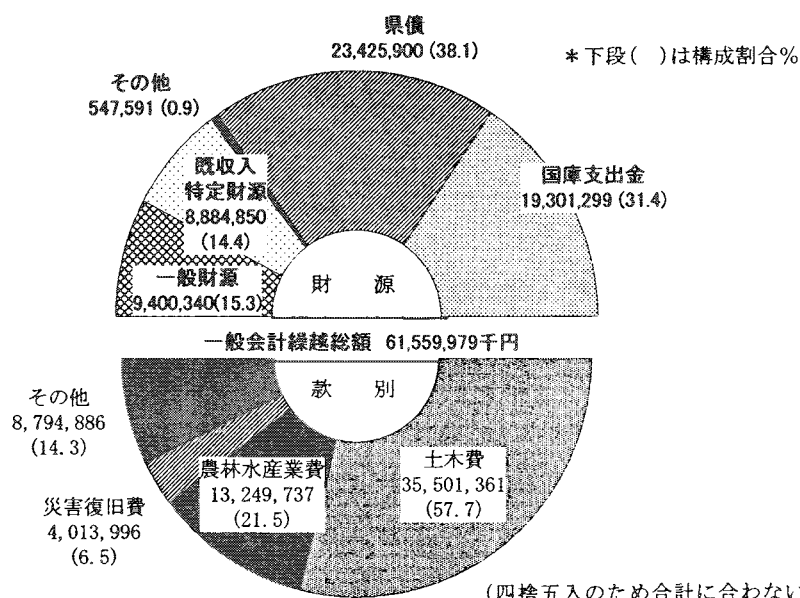


表22 平成13年度からの予算の繰越状況 (一般会計・特別会計)

(単位：千円)

区 分	繰 越 額	左 の 財 源 内 訳		
		既収入特定財源	未収入特定財源	一 般 財 源
繰越明許合計	68,247,207	10,713,951	48,137,894	9,395,363
一般会計小計	61,417,371	8,762,150	43,259,859	9,395,363
総務費	2,791,225	421,000	1,618,666	751,559
民生費	3,030,148	15,000	2,299,539	715,609
衛生費	2,311,695	893,000	860,939	557,756
労働費	50,271	10,591	39,680	0
農林水産業費	13,249,737	1,399,520	10,684,842	1,165,375
商工費	12,204	12,204	0	0
土木費	35,358,753	5,795,835	23,551,682	6,011,236
警察費	406,980	215,000	172,075	19,905
教育費	192,363	0	30,300	162,063
災害復旧費	4,013,996	0	4,002,136	11,860
特別会計小計	6,829,836	1,951,801	4,878,035	0
港湾整備事業	1,349	1,349	0	0
流域下水道事業	6,828,487	1,950,452	4,878,035	0
事故繰越合計	142,608	122,700	14,931	4,977
一般会計合計	142,608	122,700	14,931	4,977
土木費	142,608	122,700	14,931	4,977
合 計	68,389,815	10,836,651	48,152,825	9,400,340

(四捨五入のため合計に合わない場合があります。)